



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング
コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐藤 敏昭

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日

TEL 03-3352-8555
平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,939	△16.5	2,443	△30.9	2,842	△22.6	2,072	0.9
25年3月期第2四半期	15,503	14.2	3,535	19.6	3,674	27.5	2,054	30.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,829百万円 (41.1%) 25年3月期第2四半期 2,005百万円 (26.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	108.78	—
25年3月期第2四半期	107.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	59,437	47,245	79.5	2,480.19
25年3月期	58,728	44,987	76.6	2,361.65

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 47,245百万円 25年3月期 44,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	3.9	6,420	1.1	6,790	0.7	4,130	8.6	216.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	22,720,000 株	25年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,670,772 株	25年3月期	3,670,656 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	19,049,269 株	25年3月期2Q	19,049,425 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府や日銀による経済政策や金融政策を背景に期待感が先行して円安の進行や株価が上昇し、景況感は改善傾向が見受けられました。その一方で、円安による輸入価格の上昇や、雇用や所得の改善の遅れ等の不安要因も多く、実体経済の本格的な回復には至りませんでした。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、長引く個人消費の低迷や多様化するレジャーによる遊技ファン離れが影響し、パチンコホールの経営環境は依然として厳しい状況で推移しました。資金力の乏しいパチンコホールは閉店・休業に追い込まれ、その一方で大型チェーン店は新規出店を進める状況が依然として続いております。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品の開発を進めてまいりました。更には充実したアフターサービス体制で他社との差別化を図りながら提案販売を行ってまいりましたが、例年に比べて、遊技機の入替に伴う改装や新規出店による案件が少なく、周辺設備に対する投資需要に大きな動きがなかったことから、期初の計画を下回ることとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高129億39百万円（前年同四半期比16.5%減）、営業利益24億43百万円（同30.9%減）、経常利益28億42百万円（同22.6%減）、四半期純利益20億72百万円（同0.9%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

集客のために玉積み演出が主流となっているパチンコ業界において、従業員の玉運び・玉積み業務をなくし、少人数で効率的なホール運営ができる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を中心に提案販売してまいりました。パーソナルの機能面や利便性はパチンコホールや遊技ファン等、多くの方に認知され、市場シェアの拡大と共に業界標準のシステムになりつつあります。遊技機の入替に伴う改装や新規出店が先送りとなり、競合他社との価格競争が激化する中で、景品管理システムや空気の力で紙幣を搬送するAir紙幣搬送システム「HAYATE疾風」等、製品の総合力で販売を進めてまいりました。

9月には新製品発表会及び展示会を全国主要都市で開催し、多くの関係者が来場されました。新製品の「パーソナル5」「メダルパーソナル」「MSD（マース戦略データ）」を10月より販売開始し、巻き返しを図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は88店舗、第2四半期連結累計期間末時点における累計導入店は1,224店舗（市場シェア12.9%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は94店舗、導入（実稼働）店舗数は累計2,048店舗（市場シェア21.6%）となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、99億7百万円（前年同四半期比17.0%減）、セグメント利益24億14百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

[自動認識システム関連事業]

R F I Dやバーコード等を活用した自動認識システムは、業種を問わず様々なビジネスシーンで活用できます。当社社会の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、展示会への出展を通して新規分野を模索しつつ、自動認識システムを提案販売してまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、新周波数帯で長距離での読み込みが可能なUHF帯対応システムを開発し、新たな業種への導入実績を上げることができました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、25億30百万円（前年同四半期比18.4%減）、セグメント利益1億74百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界におきましては、政府の経済政策等を背景に国内レジャーが回復傾向にあり、円安による外国人観光客も増加してまいりました。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと質の高いサービスが評価され、高稼働率を維持することができました。

静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、リピート客の獲得や客単価の上昇に向けた企画を実施してまいりました。近隣の富士山は、世界文化遺産に登録され、注目度が高いことから今後の集客に期待ができます。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、5億2百万円（前年同四半期比6.3%増）、セグメント損失1億49百万円（前年同四半期は1億64百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は594億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億8百万円増加いたしました。

流動資産は367億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億64百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が41億64百万円増加し156億36百万円となりました。

固定資産は226億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、建物及び構築物(純額)が1億52百万円減少し79億50百万円となりました。

流動負債は75億99百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億93百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が3億7百万円減少し24億70百万円、リース債務が1億52百万円減少し19億9百万円となりました。

固定負債は45億92百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億56百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が3億52百万円減少し25億42百万円となりました。

純資産は472億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億57百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が15億円増加し378億62百万円、その他有価証券評価差額金が7億57百万円増加し10億32百万円となりました。

自己資本比率は79.5%となり、前連結会計年度末と比較して2.9ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は211億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して42億66百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は36億56百万円の収入(前年同四半期は21億67百万円の収入)となりました。主な要因は、売上債権の減少額24億21百万円、営業貸付金の減少額7億59百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は11億84百万円の収入(前年同四半期は30億6百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入17億51百万円、有形固定資産の取得による支出2億86百万円、投資有価証券の取得による支出2億58百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億71百万円の支出(前年同四半期は5億71百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億70百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月4日に修正しております。詳細につきましては、平成25年10月4日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,472,040	15,636,746
受取手形及び売掛金	6,557,479	4,135,566
リース投資資産	4,212,124	3,700,606
有価証券	5,990,849	5,992,386
商品及び製品	1,904,605	2,264,724
仕掛品	155,291	171,024
原材料及び貯蔵品	1,430,832	1,368,218
その他	4,302,528	3,524,911
貸倒引当金	△6,934	△10,541
流動資産合計	36,018,817	36,783,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,102,968	7,950,576
土地	5,796,545	5,796,545
その他(純額)	528,149	704,901
有形固定資産合計	14,427,664	14,452,024
無形固定資産		
のれん	86,972	57,981
その他	207,548	225,943
無形固定資産合計	294,521	283,924
投資その他の資産		
投資有価証券	6,513,302	6,768,101
その他	1,692,019	1,361,627
貸倒引当金	△217,446	△212,030
投資その他の資産合計	7,987,876	7,917,698
固定資産合計	22,710,062	22,653,647
資産合計	58,728,879	59,437,290
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,778,266	2,470,404
リース債務	2,061,879	1,909,528
未払法人税等	1,062,912	933,722
賞与引当金	447,399	456,215
その他	2,442,169	1,829,504
流動負債合計	8,792,628	7,599,375
固定負債		
リース債務	2,894,440	2,542,425
退職給付引当金	168,404	173,250
役員退職慰労引当金	592,805	608,225
資産除去債務	18,908	19,117
その他	1,273,899	1,249,172
固定負債合計	4,948,459	4,592,192
負債合計	13,741,088	12,191,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	36,361,565	37,862,283
自己株式	△7,954,348	△7,954,575
株主資本合計	44,713,146	46,213,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,645	1,032,084
その他の包括利益累計額合計	274,645	1,032,084
純資産合計	44,987,791	47,245,722
負債純資産合計	58,728,879	59,437,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	15,503,503	12,939,983
売上原価	7,675,622	6,304,770
売上総利益	7,827,880	6,635,212
販売費及び一般管理費	4,292,568	4,191,305
営業利益	3,535,312	2,443,907
営業外収益		
受取利息	2,777	2,871
受取配当金	42,331	226,047
保険解約返戻金	34,178	120,169
その他	60,084	55,892
営業外収益合計	139,372	404,981
営業外費用		
為替差損	—	6,160
営業外費用合計	—	6,160
経常利益	3,674,684	2,842,728
特別利益		
投資有価証券売却益	21,000	581,345
特別利益合計	21,000	581,345
特別損失		
投資有価証券評価損	305,082	—
特別損失合計	305,082	—
税金等調整前四半期純利益	3,390,602	3,424,073
法人税、住民税及び事業税	1,198,941	1,276,277
法人税等調整額	137,543	75,597
法人税等合計	1,336,485	1,351,875
少数株主損益調整前四半期純利益	2,054,116	2,072,198
四半期純利益	2,054,116	2,072,198

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,054,116	2,072,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,137	757,439
その他の包括利益合計	△48,137	757,439
四半期包括利益	2,005,979	2,829,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,005,979	2,829,637

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,390,602	3,424,073
減価償却費	326,343	296,008
のれん償却額	28,990	28,990
引当金の増減額(△は減少)	25,460	27,272
受取利息及び受取配当金	△45,109	△228,919
保険解約返戻金	△34,178	△120,169
投資有価証券売却損益(△は益)	△21,000	△581,345
投資有価証券評価損益(△は益)	305,082	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,112,298	2,421,912
リース投資資産の増減額(△は増加)	320,789	509,568
たな卸資産の増減額(△は増加)	△817,520	△313,237
営業貸付金の増減額(△は増加)	△806,265	759,350
仕入債務の増減額(△は減少)	△122,982	△307,861
リース債務の増減額(△は減少)	△292,930	△504,366
前受金の増減額(△は減少)	△621,402	△481,114
その他	△251,772	△97,937
小計	3,496,405	4,832,225
利息及び配当金の受取額	45,029	228,919
法人税等の支払額	△1,373,879	△1,404,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,167,556	3,656,576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△100,039	△286,974
投資有価証券の取得による支出	△3,009,299	△258,310
投資有価証券の売却による収入	120,000	1,751,617
貸付金の回収による収入	486	280
保険積立金の解約による収入	34,178	120,169
その他	△51,575	△142,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,006,249	1,184,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△110	△226
配当金の支払額	△571,034	△570,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△571,144	△571,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,410	△3,399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,403,427	4,266,057
現金及び現金同等物の期首残高	15,957,187	16,912,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,553,759	21,178,787

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	11,930,951	3,099,679	472,872	15,503,503	—	15,503,503
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	347,812	100,552	194	448,559	△448,559	—
計	12,278,763	3,200,232	473,067	15,952,063	△448,559	15,503,503
セグメント 利益又は損失 (△)	2,841,524	405,045	△164,534	3,082,035	453,277	3,535,312

(注) 1. セグメント利益の調整額453,277千円には、セグメント間取引消去453,277千円が含まれておりま
す。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	9,907,340	2,530,098	502,543	12,939,983	—	12,939,983
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	342,293	47,123	5	389,422	△389,422	—
計	10,249,634	2,577,222	502,549	13,329,405	△389,422	12,939,983
セグメント 利益又は損失 (△)	2,414,631	174,576	△149,282	2,439,926	3,981	2,443,907

(注) 1. セグメント利益の調整額3,981千円には、セグメント間取引消去3,981千円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。